

えりもしゃくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525
<http://www.town.erimo.lg.jp/section/kyouiku/sg6h94000000pqh.html>

幼児教育と学校教育の接続

○本道においては、近年、少子化、核家族化など社会環境の変化に伴い、子どもの基本的な生活習慣の欠如や規範意識の不足、コミュニケーション能力や運動能力の低下のほか、保護者の子育てに対する不安感、負担感が増えてきています。そのため人格形成の基礎となる幼児期の教育の重要性が高まってきています。

○特に、当町においては、幼児教育の改善だけでなく、小学校教育との接続を一層強化することが重要と考えており、「幼児期の終わりまで育ってほしい姿」を幼児教育施設の保育者と小学校の教員が共有し、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図ることが求められています。

○そこで、本年度は、保育所長や幼稚園長と小学校長との話合いや、園児が小学校へ訪問する機会を設けるなど、具体的な取組が始まったところです。

○来年度からは、「えりもの子はえりもで育てる」幼児期から小・中・高まで接続を図るため、研修の充実や、教育委員会と幼児施設との入学児の情報交換などをおして、一步一步、取組を進めてまいります。

えりも岬小で一日防災地域学校を実施



襟裳航空自衛隊の食事提供

○えりも岬小では10月16日の3・4時間目に一日防災地域学校が実施されました。

○えりも岬で起こった津波の様子を地域の人々が撮影したビデオで実感しました。

○その後、津波を想定して高台まで避難訓練が行われ、続いて低学年は防災かるた、中学年は防災車両の見学、高学年は災害食づくりを行いました。

○地域の方も20名程度集まり、一緒に体験をしました。



5・6年の家庭科で防災食づくり

東洋小で一日防災地域学校を実施



3・4年生が防災マップ紹介

○10月30日、東洋小学校で一日防災地域学校が行われました。

○高台への避難訓練や地震・津波を想定しての保護者への引き渡しの実際、3・4年生は作成した防災マップ（北海道教育長表彰を受賞）について地域の人に説明する時間、その後、児童と地域の人達で段ボールベットづくり、防災車両を見学し、災害時の状況を想定しました。

○地域の人達や地域の消防団の方々など、20名以上の方が一緒に参加しました。



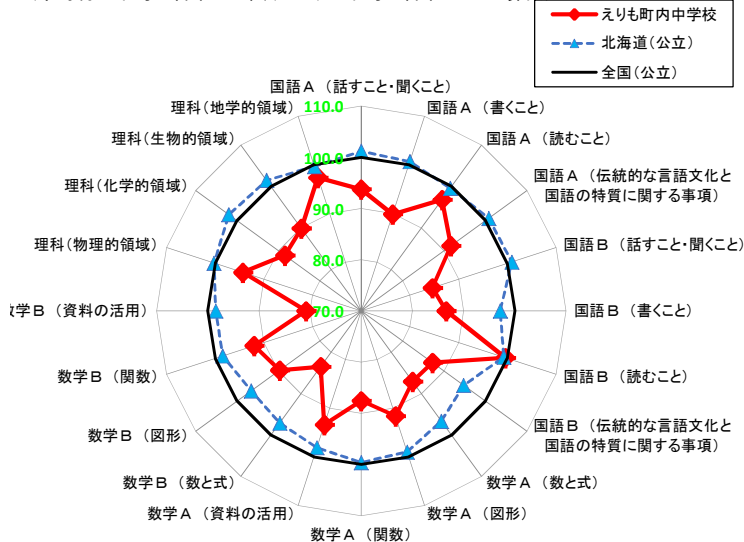
地域の人達と段ボールベットづくり

■えりも町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:35人)

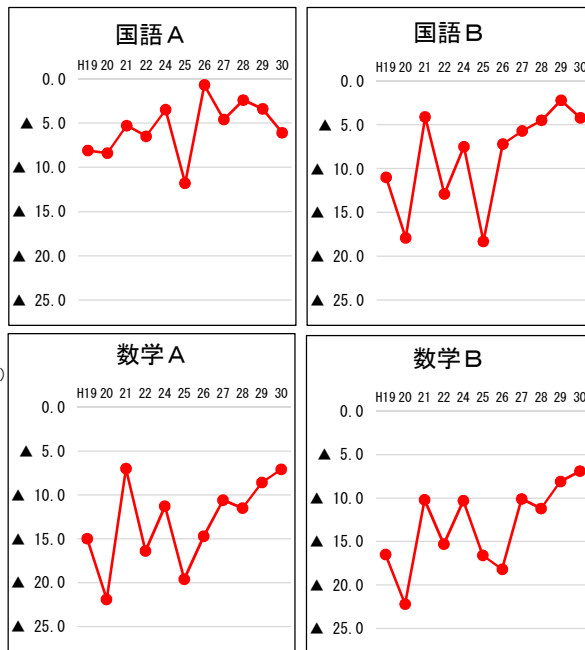
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

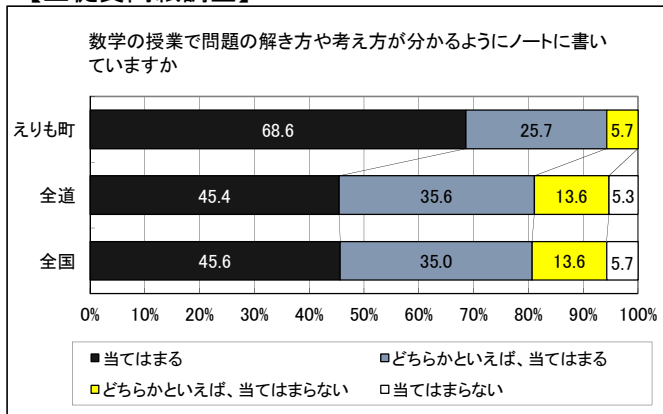


【経年変化からみる平均正答率の全国との差の推移】

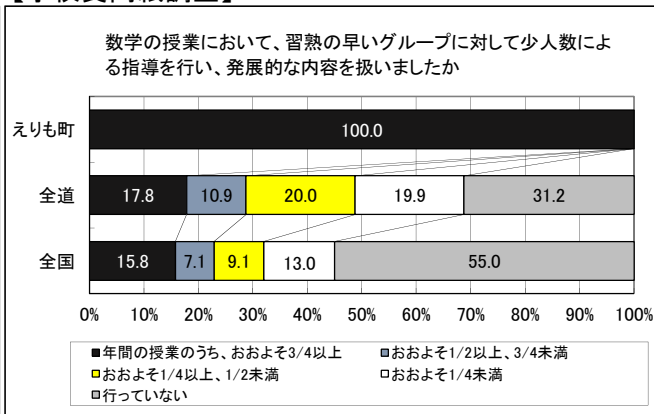


※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bでは、「読むこと」で全道を上回っている。 ○ 数学Aでは、「資料の活用」で全国に最も近づいている。 ○ 理科では、「地学的領域」で全国に最も近づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の授業において、習熟の程度に応じて少人数による指導を行い、発展的な内容も扱った。また、板書構造を工夫し、板書と関連付けたノート指導の充実により、「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町の学力向上策として、全国学力・学習状況調査の分析を踏まえたPDCAサイクルに基づく授業改善を進めたことにより、数学A・Bにおいて、全国の平均正答率との差が縮まるとともに、国語Bの「読むこと」で全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の授業において、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱った。 	

【えりも町の学力向上策】

- ◎ えりも町授業改善の方策(学習規律の確立、板書とノートの連動、まとめの位置付け、家庭学習の習慣化)による授業改善
- ◎ 全国学力・学習状況調査の分析を踏まえたPDCAサイクルに基づく授業改善
- ◎ 「続・凡事徹底」による数値目標を形骸化しない日常の授業における指導の充実
- ◎ 実物投影機等ICT機器の日常的な活用による授業改善
- ◎ 小・中・高の連携・接続を意識したキャリア教育の充実